

ニーズに合わせて宿づくり

山梨県・富士河口湖温泉『山岸旅館』

【記事投稿者：代表取締役社長 外川凱昭】

富士河口湖温泉は、霊峰富士の麓、恵まれた自然環境と都心から約 90 分の近距離に位置し、年間 900 万人もの観光客が訪れる国際的な観光地です。

山岸旅館は大正 6 年の創業。当時は河口湖の湖畔に建つ旅館は珍しく、戦後は避暑地として和風旅館よりも洋風建築のホテルが多く建てられました。



昭和 25 年の富士急行線の大月～河口湖間開業、昭和 39 年には河口湖から富士山五合目に至る山岳道路富士スバルラインの開業、さらに昭和 44 年に中央自動車道が開通し、これらの交通網の整備は当地の誘客に大きく寄与致しました。

当館は昭和 35 年以降 5 度の増改築を行い、特に昭和 53 年の増改築では当地では初めて最上階に展望露天風呂を設け、食生活の変化に合わせ懐石風メニューの中に溶岩焼和風ステーキを取り入れました。平成に入り客室の増築をおこないましたが、団体客の減少により個人客、小グループ客に対する対応をスムーズにするためのリニューアルを「和の趣とモダンな雰囲気」をコンセプトに平成 16 年 17 年の 2 ヶ年に分けて実施し、現在（総客室 58 室）に至っております。

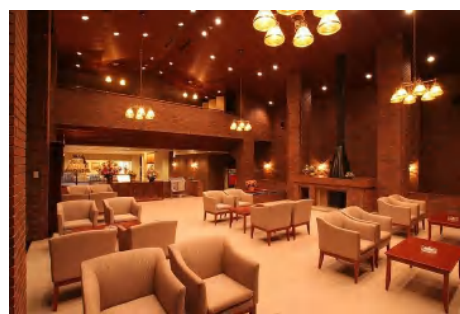




2006年は約5万人の実績がありましたが、中国を中心としたアジア圏の市場は今後も拡大傾向にあることから、2007年4月に鳴沢村に「じらんごの富士の館」（27室）を開業し、さらに2008年2月2日に同館の新館（東館）を増築オープンさせ総客室は108室（洋室101室、和洋7室）となり、富士の北麓、樹海に囲まれた緑豊かな地に「自然との調和と共生」をテーマとする滞在型リゾートホテルとして、外国人観光客の外に、当地でのエコツアーやトレッキングの際の宿泊拠点として国内需要に対応していきたいと思っています。

それぞれの個性を持つ3店舗の宿泊施設ですが、情報の共有を図りながら「富士と湖」の素晴らしい自然環境をより多くの方々訪れ、堪能していただけるよう魅力ある宿泊施設を今後も考えていきたいと存じます。

ところで旅館という言葉には「旅情」や「温かな雰囲気」が連想されます。親戚の家を訪れたような親しみや安らぎを感じて貰いたいと、創業期より変わらない旅館のスタイルを提供し、今後も継続して営業にあたりたいと考えております。一方、平成13年12月に河口湖の北岸、富士山と湖のビューポイントにアジア圏からの外国人観光客をターゲットとした富ノ湖ホテル（92室、全洋室）を開業。需要があるものの受け入れ施設が十分でなかった当地においてインバウンド専門店としての基盤を築くことが出来ました。



山梨県 河口湖温泉

山岸旅館

〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津 4030-1

Tel : 0555-72-2218